

難燃剤解説

臭素化ポリスチレン、ポリ臭素化ポリスチレン

特徴・要約

臭素化ポリスチレン (CAS-No. 57137-10-7, 88497-56-7)、ポリ臭化スチレン (CAS-No. 148993-99-1) は、ポリマータイプの代表的な難燃剤です。ポリマータイプのため熱安定性が優れ、又各特性（流動性、溶解性、軟化点など）に自由度を与えます。採用される樹脂との相溶性が良好で特に成形温度の高い樹脂に幅広く使用されています。

応用

各種ナイロン樹脂 (PA6/PA66/HTPAなど)、GF-PET樹脂 (ガラス繊維強化ポリエチレンテレフタレート)、PBT樹脂などのエンジニアリング・プラスチックに使用され、電気・電子機器、車輛部品など幅広い分野で使用されており更なる拡がりを期待しています。

安全性情報

- ・臭素化ポリスチレン、ポリ臭化スチレンは急性毒性を有する危険有害成分ではありません。
- ・各種国際輸送規定 (ADR/IATA/IMDG/RID) においても危険物に該当しません。
- ・日本国内における関連法規 (消防法、化審法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法など) に対し非該当もしくは特定、監視化学物質等の制限を受ける分類には該当しません。
- ・又、臭素化ポリスチレン、ポリ臭化スチレンの成分は各国のインベントリー (TSCA/DSL/AICS/ENCS など) に記載もしくは準拠しています。
- ・最新の安全性情報については個々の製品のSDSもしくはRDS (Regulatory Data Sheet) を参照ください。

利点

- ・臭素化ポリスチレン、ポリ臭化スチレンは高分子構造故の低毒性を実現しています。又、環境への放出や生体内へ取り込む可能性を少なくすることで環境・人体への影響を最小限に抑えることに成功している持続可能なソリューションを提供します。

供給会社／出典 他

- ・ 日本難燃剤協会 (FRCJ)
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町5 TMビル2階
TEL : 03-5577-5254 FAX : 03-5577-5256
E-mail : info@frcj.jp
<https://www.frcj.jp>
 - ・ 臭素科学・環境フォーラム (BSEF Japan)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-9-6 十全ビル101号
TEL : 03-6205-4201
<https://www.bsef-japan.com/>
 - ・ 臭素化ポリスチレン、ポリ臭化スチレンの供給を行っている日本難燃剤協会のメンバー
I C L J A P A N株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽2-2-22 住友不動産飯田橋ビル2号館 ウイング4階
TEL : 03-6801-8430 FAX : 03-6801-6970
<http://www.icl-japan.com/>
- アルベマール日本株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-1 青山安田ビル11階
TEL : 03-6438-5202 FAX : 03-6438-5220
<http://www.albemarle.com>
- マナック株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-4 日本橋さくら通りビル6階
TEL : 03-3242-2561 FAX : 03-3242-2564
<https://www.manac-inc.co.jp/>
- ランクセス株式会社
〒100-8215 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル23階
TEL : 03-5293-8000 FAX : 03-5219-9773
<https://lanxess.co.jp/jp/home-japan/>

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であり、保証値ではありません。